

令和3年度 苫小牧市立沼ノ端中学校 学校評価

教育推進の指標	未知なるものに果敢に挑戦する自立の精神にあふれ、連帯と共生の豊かな心と活力あたる人を育てる(自立・連帯・共生)			
学校教育目標	「高い知性」 「豊かな心情」 「強い身体」	・積極的に学習する生徒 ・責任をもってやりぬく生徒 ・苦難を克服する生徒	・合理的に思考する生徒 ・思いやりが深く感謝する生徒 ・健康に心がける生徒	・創造的に表現する生徒 ・勤労を尊び感謝する生徒 ・安全に行動する生徒
育成を目指す資質	学ぶ意欲 思考力・判断力・表現力 問題発見・解決能力 思いやり 感謝の心 共生の心 コミュニケーション力 協働 貢献			
学校経営方針	1 働き方改革の推進と教育の質の向上の両立 2 学校の新しい生活様式の実践と学びの保障 3 令和の日本型学校教育			
学校経営の重点	社会に開かれた教育課程(カリキュラム・マネジメント) 人材育成(教師力の向上) チーム学校づくり(組織力強化) 信頼される学校づくり(安全安心、服務規律の保持、地域とともにある学校)			

重点目標	推進内容	自己評価			検証結果	学校評議会委員の評価		改善策
		教師	保護者	生徒		評価	意見	
社会で生きる力の育成	1 学校は学ぶ意欲や考え判断し表現する力を育む生徒主体の授業を行っている。	3	3.1	3.2	学ぶ意欲は高まったが平均正答率等の結果に繋がる授業改善や思考力判断力表現力の育成が今後の継続課題である。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教師、保護者、生徒の自己評価数値を見て、方向性よく進められていると認識する。 ・生徒が自発的に取り組む姿勢が見受けられ点は安心するところである。 ・今後も生徒をバックアップし、より楽しく学校生活を送れる環境づくりをお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修と小中合同研修会を計画的に設定し、学力向上に結び付く授業改善を胆振、苫小牧市、沼ノ端小中の取組の整合性を図り、効果的に行っていく。 ・総合的な学習の時間を検証し、コロナ禍における地域貢献に繋がる教育活動を展開していく。 ・小中連携による特別支援教育の充実を図り、日常のかかわりや授業においてインクルーシブ教育体制を推進していく。
	2 総合的な学習の時間の地域学習やキャリア教育では社会や未来を担う力を育てている。	2.7	3.1	3.2	ふるさと学習の計画を見直す状況や職場体験が未実施となったため今後新しい生活様式を踏まえた体験学習の充実が必要である。	3		
	3 学級学年は、生徒一人一人の個性が生きる集団づくりや仲間づくりが行われている。	3.2	3	3.3	生徒主体の教育活動を広げ、安心して個性を発揮し、認め合える集団づくりを大切にしている。	3		
	4 生徒会活動はよりよい学校づくりに向け自発的な活動を行い生徒の自己実現を支えている。	2.8	3.2	3	制限下においても自らよりよい生活を生み出す参画、貢献活動を広げるよう支援を要する。	3.5		
	5 生徒一人一人の特性に配慮した教育活動や多様な人との交流学习がよく行われている。	2.8	2.9	2.8	個々の特性を踏まえ誰もが過ごしやすい学校環境づくりや授業づくりが急務である。	3.5		
豊かな心と健やかな体の育成	6 道徳の授業では心の在り方やよりよい生き方を広く見つけ生徒の豊かな心を育てている。	3.2	3.1	3.3	本校の重点内容を大切に指導計画に沿って道徳の時間を適切に実施している。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに大切な年代に正しい方向へ導く教育、生きる力をしっかりつける教育をお願いする。 ・いじめのない環境づくりを学校経営の主として今後も進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沼ノ端小中一貫の視点を大切に生徒指導を行い、情報共有と共通行動を前進させ、いじめ不登校問題の未然防止、解消に向けた取組を一層推進していく。 ・学校における新しい生活様式を踏まえ、今年度より一歩でも前進できる体験活動を地域と連携して拡充していく。
	7 学校は家庭や地域と協力して、きまりを守り、自立し、共に支え合える生徒を育成している。	2.8	3.2	3.5	生徒は学校のきまりを守り、自主的な行動や活動を通し、お互いを尊重しようとしている。	3		
	8 学校は家庭や地域と協力して、いじめのない心の通い合う学校づくりに取り組んでいる。	3.5	3	3.2	家庭や地域に協力を仰ぎ、いじめ未然防止の取組と解消に努めているが、不登校問題の対応は家庭、関係機関との継続連携を要す	3		
	9 学校は地域と協力して、自他の生命や健康安全を大切に授業や教育活動を行っている。	3.1	3.1	3.5	計画を柔軟に更新させ、外部講師を招聘した授業を実施し効果的な授業を実施できた。また、感染対策に万全を期した。	4		
信頼される学校づくり	10 中学校は9年間を見据えて小学校との接続を大切に学習指導や生徒指導を行っている。	2.6	3	3.2	沼小中の連携会議を再開し、学習、生徒指導、道徳、特別支援の連携を行っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小中9年間、沼ノ端で三位一体で子供を地域の子供たちを育む姿勢をより活発に取り組んでほしい。 ・地域の特性を踏まえ、子供たちの学力、体力の向上の底上げを期待する。 ・日頃より学校の皆様の手厚い教育、指導に感謝する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沼ノ端小学校と中学校の目指す資質能力の育成に向け、小中一貫の視点で各校の教育課程を揃えていく。 ・小中合同評議会委員会を発展させた沼ノ端校区の学校運営協議会を令和5年度までに軌道にのせる活動を実施していく。
	11 学校は保護者や地域に学校の情報をわかりやすく積極的に公開している。	2.9	3.2	3.2	授業や行事のLIVE配信、HP更新、お便り発行、連絡網等により情報発信を継続している。	2.5		
	12 学校は生徒のために一生懸命学び指導力を高め保護者や地域の声に真摯に対応をしている。	3.1	3	3.4	市、小中との整合性を図る研修や学校評価やPTA、学校評議員の声を教育に繋げている。	3		
	13 部活動は生徒や教員の健康安全に配慮し自主的自発的な活動が効果的に行われている。	2.8	3.2	3.5	働き方改革を踏まえ、健康や安全を大切に自主的自発的な部活動が行われている。	3		